

第3回阿武隈高地線量測定の日山歩き記（花塚山）

2014.12.30. 福岡・記

私は、9月の阿武隈高地・日山に続いて、11月14日(金)に花塚山に行って来た。花塚山(918.5m)は、川俣町と飯館村の町村界にある山である。福島第一発電所からは北西NW310°の方向、直線距離で41kmの所にある山である。川俣町は、現在はその南東にあたる山木屋地区以外は「避難区域」にはなっていない。が、飯館村の大半は「居住制限区域」である。

11月14日(金)わが酒々井町の一番電車(5:05発)で上野に向かい、JR福島までは東北新幹線で行く。JR福島駅から川俣町までは福島交通バスで行く。約40分ほどで[川俣町役場前]のバス停で降りる。役場前の国道114号線では、[除染中]の立て看板と除染中の除染車2台が目飛び込んできた。この辺りは、「避難区域」にはなっていないので、除染風景がなければ、人の動きは普通の田舎町の雰囲気のように感じられた。

花塚山の登山口・萩平までは、バスの便が無いので県道12号線を5



kmばかり歩く。途中に[機織神社]があった。この地方は、以前は養蚕と絹織物の産地であったようだ。萩平から約1km(18分)ばかり歩いたところの路傍に例の三菱電機製の線量計があった。その値は0.277μSv/hを示している。私の線量計は0.28μSv/hで、殆ど同じ値を示している。そこからまた1kmばかり進んだところに[飯坂地区第一仮置場]という看板に出遭う。



この除染土一時保管場は「最大保管量11,000m³」となっている。フレコンバッグ1袋1m³とすると11,000袋置



ける勘定だ。約20m×50mのエリアなので1列11袋で11,000袋置ける勘定だ。しかし、この仮置場の前の線量計の値は、私の線量計の値よりも1桁も低かった。線量計が狂っているのか、そうでなかったら意図的に操作しているのか、と変に思った。そしてまた、暫らく行くと花塚山の登山口[花塚の里]という小公園(子供用の遊具も設置されている)に着く。ここでいつものように持参のオニギリとテルモスの紅茶で昼食を取る。天気は良いが気温8°Cで風があり、寒いので早々に登山開始。50分ほど歩くと花塚山頂に着く。途中、にこやかな石仏にも出会い、心和ませてくれる。山頂はミズナラやコナラ(落葉していたが)の樹林で、フクイチ方面の展望はなかった。山頂の三角点上での線量は、2.14~2.25μSv/hで、前回の日山0.58μSv/h、前々回の大滝根山0.50μSv/hよりははるかに高い線量である。ICRP(国際放射線防護委員会)が一応の目安とする「1~20mSv/Year」の上限値に近い値である。



また、暫らく行くと花塚山の登山口[花塚の里]という小公園(子供用の遊具も設置されている)に着く。ここでいつものように持参のオニギリとテルモスの紅茶で昼食を取る。天気は良いが気温8°Cで風があり、寒いので早々に登山開始。50分ほど歩くと花塚山頂に着く。途中、にこやかな石仏にも出会い、心和ませてくれる。山頂はミズナラやコナラ(落葉していたが)の樹林で、フクイチ方面の展望はなかった。山頂の三角点上での線量は、2.14~2.25μSv/hで、前回の日山0.58μSv/h、前々回の大滝根山0.50μSv/hよりははるかに高い線量である。ICRP(国際放射線防護委員会)が一応の目安とする「1~20mSv/Year」の上限値に近い値である。





花塚山三角点上の線量計

2014.11.14 13:18

今回の山旅の目的を一応果たしたので、一気に下山する。いつもと違って軽いアタックザックなので、まだところどころに残っているカエデの紅葉を愛でつつ、カサカサと乾いた落葉を快適に踏み締め、花塚台、北峰 882m、[峠の森・自然公園] を経て萩平に着く。ここからは往路と同じ道を福島交通の終点(始点)の[川俣高校前]のバス停を目指し県道12号線を歩く。[川俣高校前]バス停より約0.8km手前に飯舘村から避難した3小学校の合同仮設校舎(プレハブ)があった。その校庭端(県道沿い)にあった線量計の値は、 $0.131\mu\text{Sv/h}$ を示していた。私の線量計は、 $0.13\mu\text{Sv/h}$ であった。丁度、下校中の子供たちが5,6人の集団で家路に着くところであった。この子供たちは、この川俣町の仮設避難住居に帰宅するのだろうか。

夫婦別居生活の人も多いと聞く。心が痛む。平穏な温かい家庭であって欲しいと祈らずにはおれない。

[【参考】花塚山・登山記録\(2014 11\)](#)



仮設合同小学校の校庭端設置の線量計

2014.11.14 15:24

【第3回阿武隈高地の放射線量測定の日歩き記・完】